



こういうことを書いても、川端康成氏の芸術をいささかも傷つけるつもりはないことは言うまでもないことだが、あえて断っておきたい。われわれが国内にいるときと、国外にいるときとは、同じ言葉を使ってはいけないのではないかとということ、われわれは外国へ行ったら国際的立場におけるものの考え方をする必要があるのではないかということを考える上で、たいへんご迷惑な話だが、引き合いに出させていただいているのである。

【c】外国人は金銭のことをきわめて率直に話題にする。仕事をするときは当然、報酬はいくらくれるのかを訊く。金のことを口にするのに、日本人のような「抵コウがない。多額の賞金をもらう人」その金をどうするのかと訊いて何が悪い、それにはまっとうに答えるべきだという感覚がヨーロッパの記者たちにある。そういうことを、日本を發たれる前の川端さんにだれかがそつと申し上げておくべきだった。それを怠つたのはまわりの人の「□」であつたと思う。あるいは、日本の外国語教育の至らなかつたせいであるとしてもよい。

賞金の使途を質問されたら、それを避けてはならない。計画がないのなら、そう答えるし、具体的なプランがあれば、ヒューモラスにそれを披露する。日本国内ではおそらく大文学者に対してこういう失礼な質問を浴びせる記者があろうとは思われぬ。もしだれかが間違つてそういう「C」失礼な質問をして、うやむやに答えている方が大家らしくてよい。あまり具体的なことを話されると、かえつて川端文学のひよびようたる味わいの消えるおそれがある。

ところが一步国外へ出ると、こういう東洋的発想はもはや通用しないのである。国内の言葉の使い方、ものの考え方と国外へ出たときの発想法とは使い分けなければならないのである。かりに英語の会話などがいくらかできたとしても、この使い分けが充分でないと、相手にこちらの気持を本当に伝えることができない。川端さんの場合のような誤解がおこつたのは、サイデンステッカー氏が日本語や英語に不自由だったからでなく、そもそも「D」発想自体が翻訳を拒否する「E」のものだったからである。したがつて、「E」外国語の枝葉に心を砕く前に、われわれは日本語のどこまでが外国語に翻訳でき、どこからさきは不可能かという点をよく吟味してかかることが必要であろう。こういう配慮が欠けるならば、政治家も実業家も、海外において思わぬ誤解をつぎつぎ招いて、こちらに他意がなくとも、たいへん悪い人間、悪い国であるように思われてしまうのであろう。

これは日本だけのことではなくて、外国にも似たような例はある。ソ連の首相だったフルシチョフがアメリカへ行つたときのことである。ロスアンジェルズ市長招待晩餐会か何かの席上で、フルシチョフがスピーチの中で「お前たち（アメリカ人）を土中に埋めてやる」と言つたからたまらない。主催者側が脅迫だと抗議するし、フルシチョフは旅行を中止して帰国すると言ひ出す騒ぎになつた。ところが真相は、フルシチョフが「われわれはあなた（方）より長生きする」（お葬いを出す方があとに生き残ることになるところから、埋めるといふ表現が出てくる）というロシアの諺（ことわざ）を用いて、社会主義の方が資本主義よりさきまで生きのびることをのべようとしたのが、通訳が文字通りに訳して「土の中に埋める」としたから問題になつたのである。

【d】ものの考え方や慣習が大きくちがう国と国の間で行なわれる言葉のやりとりは内輪の会話などとはよほど異なつた用意がないと、こういう外交問題にまで発展しかねない。異文化間のコミュニケーションではニュアンスの微妙な成句などは使うのを控えた方が「お」フ難であろう。諺なども「□」があるようで案外そうでないことがあるから注意を要する。フルシチョフほどの場数をふんだ政治家ですらこういう失敗がある。やはり翻訳可能の限界の見きわめがついていなかったのである。

問一、傍線部(あ)～(お)のカタカナの部分と同じ漢字を使うものを、次の各群の1～4のうちから、それぞれ一つ選びなさい。

【あ：解答番号1、い：解答番号2、う：解答番号3、え：解答番号4、お：解答番号5】

- |     |     |        |       |        |       |
|-----|-----|--------|-------|--------|-------|
| (あ) | ロウ費 | 1、ロウ婆心 | 2、放ロウ | 3、過ロウ死 | 4、画ロウ |
| (い) | 脅イ  | 1、イ敵   | 2、悪イ  | 3、イ和感  | 4、差イ  |
| (う) | ケツ如 | 1、清ケツ  | 2、補ケツ | 3、ケツ断  | 4、ケツ縁 |
| (え) | 抵コウ | 1、反コウ  | 2、旅コウ | 3、コウ園  | 4、思コウ |
| (お) | ブ難  | 1、ブ辱   | 2、ブ札  | 3、ブ長   | 4、ブ踏会 |

問二、空欄□に入ることばとしても適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号

6】

- 1、経済的      2、神秘的      3、芸術的      4、一元的

問三、傍線部(A)「国語」という言い方が普通になっていること自体、うちうちの言語という建前を暗示している」とはどういうことか。もつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい

【解答番号7】

- 1、外国のように他国と隣接している国では「国」といえばさまざまな国を指す余地があるが、日本のような島国ではそのような余地がなかったということ。
- 2、「国語」と呼んでいるようでは、本来の意味での国際化は無理であるということ。
- 3、「国語」といえば「日本語」と考えること自体、外国人に日本語を学んでもらおうという意識の低さがうかがえるということ。
- 4、他国の言葉と区別して「日本語」といえばよいところを、「国語」と表現するのは外からの目を意識していないことの表れであるということ。

問四、傍線部(B)「それ」とあるが、ここで何のことか。もつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号8】

- 1、外国人に日本語が教えられるようになること
- 2、外国人に日本語を勉強してもらえるようにすること
- 3、外国からの日本人に対する批判
- 4、日本人が外からの視点に無関心であること

問五、空欄□に入ることばとしてももつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号9】

- 1、腑抜け      2、腰砕け      3、手落ち      4、肩透かし

問六、傍線部(C)「失礼な」に「(カギカッコ)がついている意味としてもっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。」

【解答番号10】

- 1、金銭について質問するのは日本の文化においては失礼にあたるが、それは全世界に共通した考え方ではないから。
- 2、欧米では率直でないことはかえって失礼にあたることであり、日本人のあいまいな態度は国際的誤解を招くであろうことを強調したかったから。
- 3、欧米の文化圏でも、大文学者に対して金銭のことを質問するのは失礼にあたるから。
- 4、どのような質問をされても率直に答えるべきだということを、事前に川端氏に説明しておくような行為こそが失礼にあたるから。

問七、傍線部(D)「発想自体が翻訳を拒否する」とはどういうことか。もっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。

【解答番号11】

- 1、言語とは思想を伝達する手段であり、外国語を学ぶ以前に外国の思想を尊重する態度を養わないといくら外国の言葉を知っていても無意味であるということ。
- 2、ものの考え方は国によって異なるものなので、自らの主張を相手に伝えることのできる言語力を習得しないとコミュニケーションは成立しない場合があるということ。
- 3、文化的背景の異なる外国人に対して単に言葉だけを忠実に外国語に置き換えてみても、真意を伝えることができない考え方があるということ。
- 4、外国語が得意であればあるほど相手に伝わらない言葉を用いてしまうという翻訳上の落とし穴にはまるといふ危険があるということ。

問八、傍線部(E)「外国語の枝葉に心を砕く」とはここではどういうことか。もっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。

【解答番号12】

- 1、外国語に関連する文化的な背景に興味をもつこと。
- 2、外国語の基礎的なレベルの習得に専念すること。
- 3、外国語の細かな文法の習得をあきらめること。
- 4、外国語の発音にこだわったり難解な語彙の習得に必死になること。

問九、空欄 ㉓ に入ることばとしてもっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。

【解答番号13】

- 1、客観性
- 2、特殊性
- 3、多様性
- 4、普遍性

問十、次の句を挿入する箇所としてもっとも適当なものを、次の1〜4から選びなさい。

【解答番号14】

「具体的な例をあげると、」

- 1、【a】2、【b】、3【c】、4【d】

問十一、問題文の内容に合致するものとしてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号15】

- 1、外国人に自国語を教えるにあたって特に日本語が困難であるのは、日本にはヨーロッパ言語と日本語を相対的に見る目が育っていないからである。
- 2、国際交流が盛んになればなるほど、外から自国や自国語を見る目を養わないと、思わぬ誤解を招いてしまうことがあるから注意が必要である。
- 3、サイデンステッカー氏のような優れた翻訳者であっても、金銭に関するような事項については安易に通訳を試みるべきではない。
- 4、日本語は鎖国という特殊な歴史的環境の中で使用されてきたために、共通理解に基づいたコミュニケーションが成立しにくいという問題が発生した。

二、16～20について、正しい読みを1～4から選びなさい。

【解答番号16～20】

- |    |    |         |         |         |         |
|----|----|---------|---------|---------|---------|
| 16 | 病臥 | 1、びょうしん | 2、びょうじん | 3、びょうきよ | 4、びょうが  |
| 17 | 励行 | 1、れいこう  | 2、りよっこう | 3、りきこう  | 4、れいぎょう |
| 18 | 渾身 | 1、くんしん  | 2、ぐんしん  | 3、こんしん  | 4、こんみ   |
| 19 | 疾病 | 1、しつびょう | 2、しつびよう | 3、しつぺい  | 4、しつべい  |
| 20 | 産着 | 1、さんぎ   | 2、さんちやく | 3、うみぎ   | 4、うぶぎ   |

三、21～25の傍線の部分の意味としてもっとも適当なものを、それぞれ1～4から選びなさい。

【解答番号21～25】

21 忽然こつぜんと現れた。

- 1、急に
- 2、焦って
- 3、ゆつくりと
- 4、忙しそうに

22 その問題については門外漢だ。

- 1、専門家ではない
- 2、素人だが専門家も驚くほど詳しい
- 3、その道の権威
- 4、知らないふりをする

23 二〇世紀に没落した貴族は枚挙にいとまがない。

- 1、数が少なくて数えるほどでもない
- 2、あまりに多くて数えきれない
- 3、数が多いか少ないかは問題ではない
- 4、行方不明になる人が続出している

24 この会社には骨を埋める覚悟で入社した。

- 1、そこで一生を終える
- 2、挫折して立ち直れなくなる
- 3、そこに墓を建てる
- 4、死んだら遺産を寄付する

25 そんな虫がいい話はない。

- 1、自分の好みには合わない
- 2、自分にとって好都合な
- 3、いやな予感がする
- 4、興味を強く感じる

四、26～28の熟語の反対語(対義語)を1～4から選びなさい。

【解答番号 26～28】

- |    |    |      |      |      |      |
|----|----|------|------|------|------|
| 26 | 謙虚 | 1、横柄 | 2、冗舌 | 3、多弁 | 4、奔放 |
| 27 | 干渉 | 1、自由 | 2、放任 | 3、悠々 | 4、安閑 |
| 28 | 怠惰 | 1、精進 | 2、勤勉 | 3、敏速 | 4、苦心 |

五、次の冒頭で始まる文学作品の題名と作者をそれぞれ1～4から選びなさい。

【解答番号 29、30】

「私はその人を常に先生と呼んでいた。だから此処でもただ先生と書くだけで本名は打ち明けない。」

29 題名

- 1、『坊ちゃん』
- 2、『こころ』
- 3、『山月記』
- 4、『細雪』

30 作者

- 1、中島敦
- 2、谷崎潤一郎
- 3、芥川龍之介
- 4、夏目漱石